

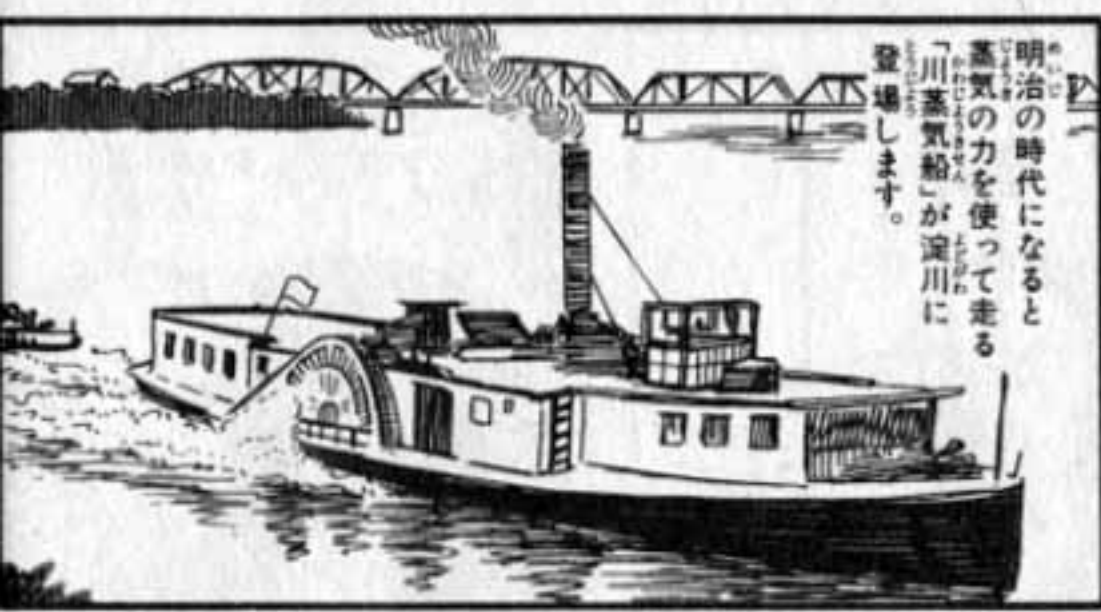


蒸気船

明治二年(一八六九)に伏見、大阪間を運行。この船は、水深が浅い淀川を、曲線の回転する水力で進むことから、外輪船と呼ばれました。定員約一五〇名。伏見、大阪間を上り六時間、下り三時間半で結びました。従来の三十石舟よりも速く、利用者も激増。しかし、後の国鉄、京阪電気鉄道によって、貨物輸送としての利用はなくなりまし

めいじじだい うじがわかいしゅう

# 明治時代の宇治川改修



明治の時代になると蒸気力を使って走る「川蒸気船」が淀川に登場します。



大阪の発展に伴って淀川の役割も大きく変わってきた。大きな船が入れるように河口に港を造ったり、多くの荷物を京都などへ運ぶために淀川の改修の必要がでてきた。



時代は変わって宇治川や淀川の役割はどうなったの？



その頃の日本には大がかりな土木工事をするための技術はなかった。そのため、明治政府はオランダから技術者を招いて技術を教わりました。工事はまず測量から始められました。

オランダ人技師  
デレーケ



彼は明治六年（一八七三年）  
から二九年もの長い間  
淀川のために働きました。

デレーケ  
って  
どんな  
ことを  
した人だった  
の？



デレーケをはじめ  
当時友好のあった  
オランダ人土木技術者たちは  
低水工事といって  
安全な航路を確保するための工事  
を中心にしたんだよ



そうした土砂は



川に流し



マサ（花崗岩の風化物）  
等の地質の  
ところでは  
大量の木を  
伐った山は  
雨が降ると  
大量の土砂を

瀬田川や  
宇治川を  
経て  
下流に  
流れ出  
ました。



だから



淀川 川底に石や砂を敷き、強い流れが直撃、堤防に当たらないようにする「よどみ」。





このときの  
工法の一つに  
「そた工法」があります。



この工事は  
伏見  
観月橋より  
下流で  
行われました。



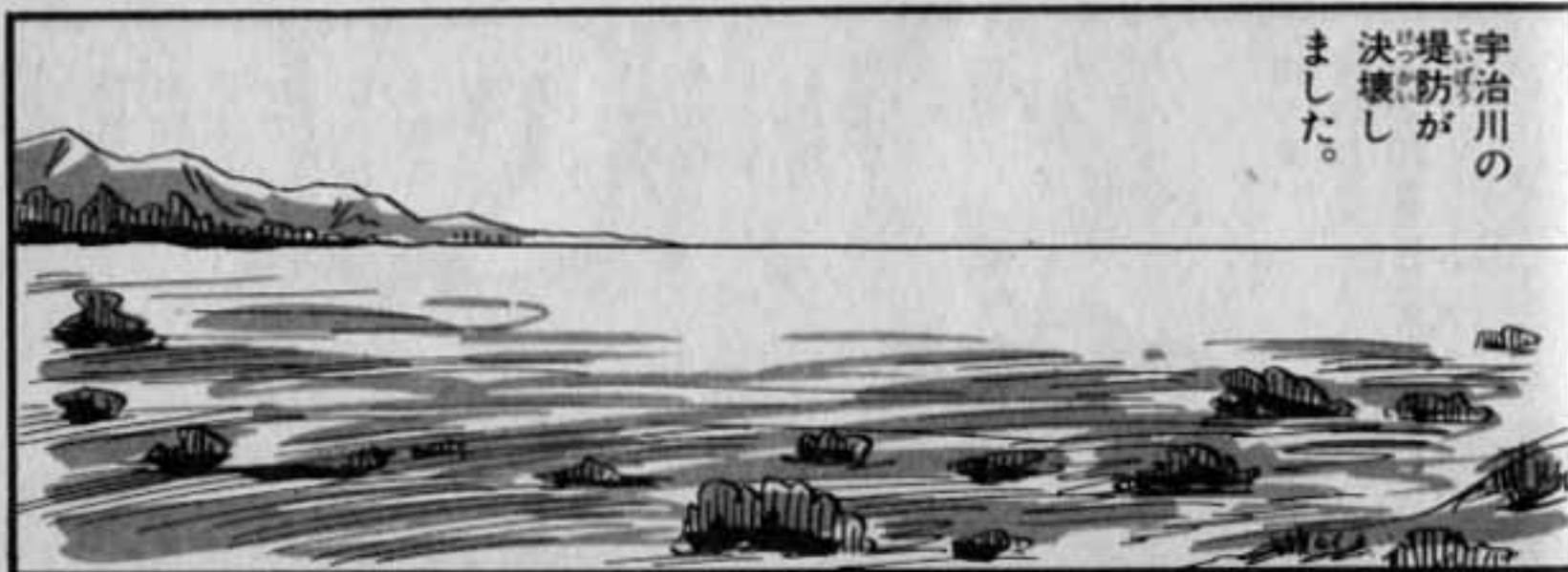
これは  
木の枝などを  
集めて束ねた  
もので、



明治十八年  
(一八八五年)  
大暴風雨……



宇治川の  
堤防が  
決壊し  
ました。





琵琶湖の水位 琵琶湖の水位は、新田西郷のそばに設けられている鳥居川量水標の電卓(0.7m)より10cm以上高くなることを基として、この高さ  
 してきます。琵琶湖の代表量水標である鳥居川量水標は、オランダ人技師エッセルの発案により、明治七年に設けられて以来、100年以上も鳥居川の観測が続けられています。



多くの家屋が浸水しました。



下流の大阪の方でも大きな被害が出てまた上流の琵琶湖でも明治初年後しばらくは大きな水位上昇がなかったのですが、この明治十八年は鳥居川観測所で二、七mを記録しました。



湖岸の田では田植もできないというありさまでした。



さらに明治二十二年も相続く大雨のため五月から九月にかけて高い水位が続き、



琵琶湖の水位を下げよう

もっと下流に水を流そう

そんなことをしたら下流で洪水が起る

何か良い方法は無いのか



水をどンドン  
下流に  
流そう

下流が  
洪水に  
なる



対策を  
考えよう

水を流せ

流すな

水を流せ

流すな

良い案は  
ないのか



それから  
どうなったの



このように  
下流の大阪では  
淀川の改修運動、  
上流の滋賀県では  
瀬田川の改修運動の  
機運が高まってきた  
んだ



政府は明治二十四年  
沖野忠雄技師に  
淀川改修計画の  
調査を命じました。



明治二十九年  
河川法の制定とともに  
淀川改修工事が  
実施されました。



それは

- 瀬田川の浚渫と南郷洗堰による流量の調節
- 宇治川と巨椋池の分離の二つになるね



大きな工事で  
むずかし  
そう



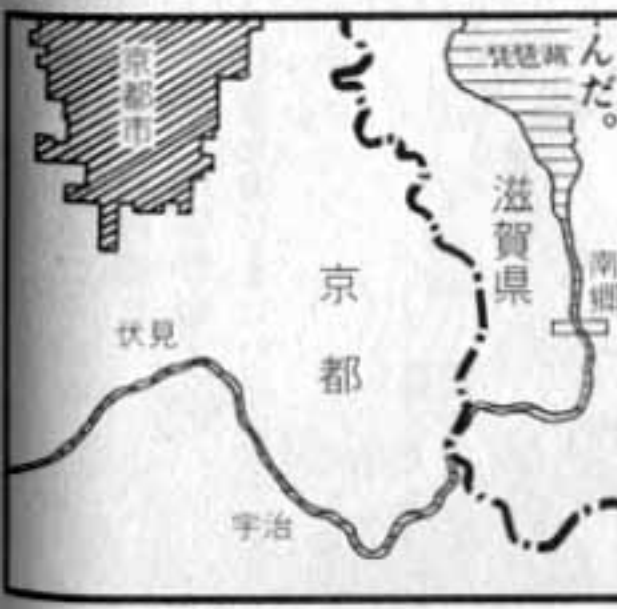
そう  
むずかしいね  
でもこれは  
日本人に  
よって  
計画立案  
されたん  
だよ



まず  
南郷の洗堰に  
ついて  
話して



洗堰というのは、  
水を調節する堰の一種で、  
瀬田川の南郷という地に作  
られたことから「南郷の洗堰」  
と呼ばれたんだ。  
ところでここは昔から浅瀬に  
なっており上流の人は早く洪  
水を下流に流すためなんとか  
深くしたいと思っていた所な  
んだ。





この話は  
奈良時代から  
しなくて  
はならないんだ

宇治川の上流  
琵琶湖のほとり  
大津市の南  
田上山は  
標高六〇〇  
メートル  
の山で



ここの木は藤原京や  
東大寺、石山寺、延暦寺の  
建設のときに伐採されました。



地質的には花崗岩で  
できていてその  
風化は、はげしく  
木を伐ると多量の  
土砂流出が生じる  
とともに容易に  
はげ山となる。



伐採の続いた  
田上山は  
山はだが露出して  
洪水のたびに  
土砂が大戸川に  
流出するよう  
になりました。



瀬田川との合流地点では土砂が堆積しここが浅瀬になってしまいました。



そのため水の通りが悪くなり大雨が降ると琵琶湖の水位が上がったままに下がりにくくなるね



浅くなった所を掘ればどうか



そうだね



でもなかなか浚渫はむずかしかったようだね

どーして？



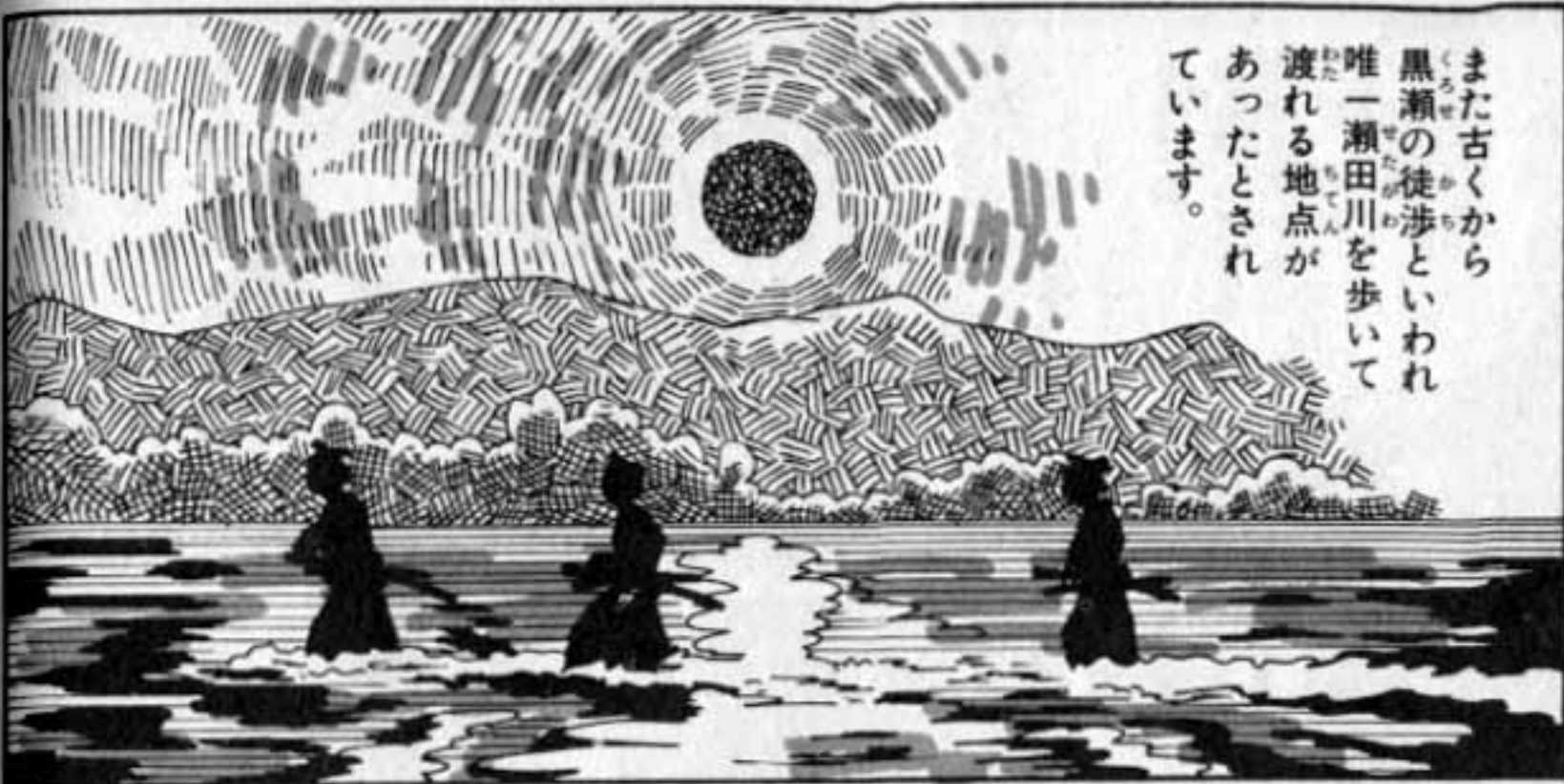
奈良時代からこの辺りは供御瀬と呼ばれ魚を獲り朝廷に献上して来ました。大事な築場だったのでこの仕掛のためたくさんの丸太が打ち込んでありました。これにより土砂は一層堆積しました。







また古くから  
黒瀬の徒渉といわれ  
唯一瀬田川を歩いて  
渡る地点が  
あったとされ  
ています。



六七二年の壬申の乱や  
一一八四年寿永の乱、  
一三三六年の建武の乱の  
戦いの時もここを渡った  
とされる



そして京都に変事が  
あったとき幕府が  
兵をすすめる  
ためにこれは  
秘密にされて  
いたんだ



いろいろな理由で  
川は掘れなかったのね



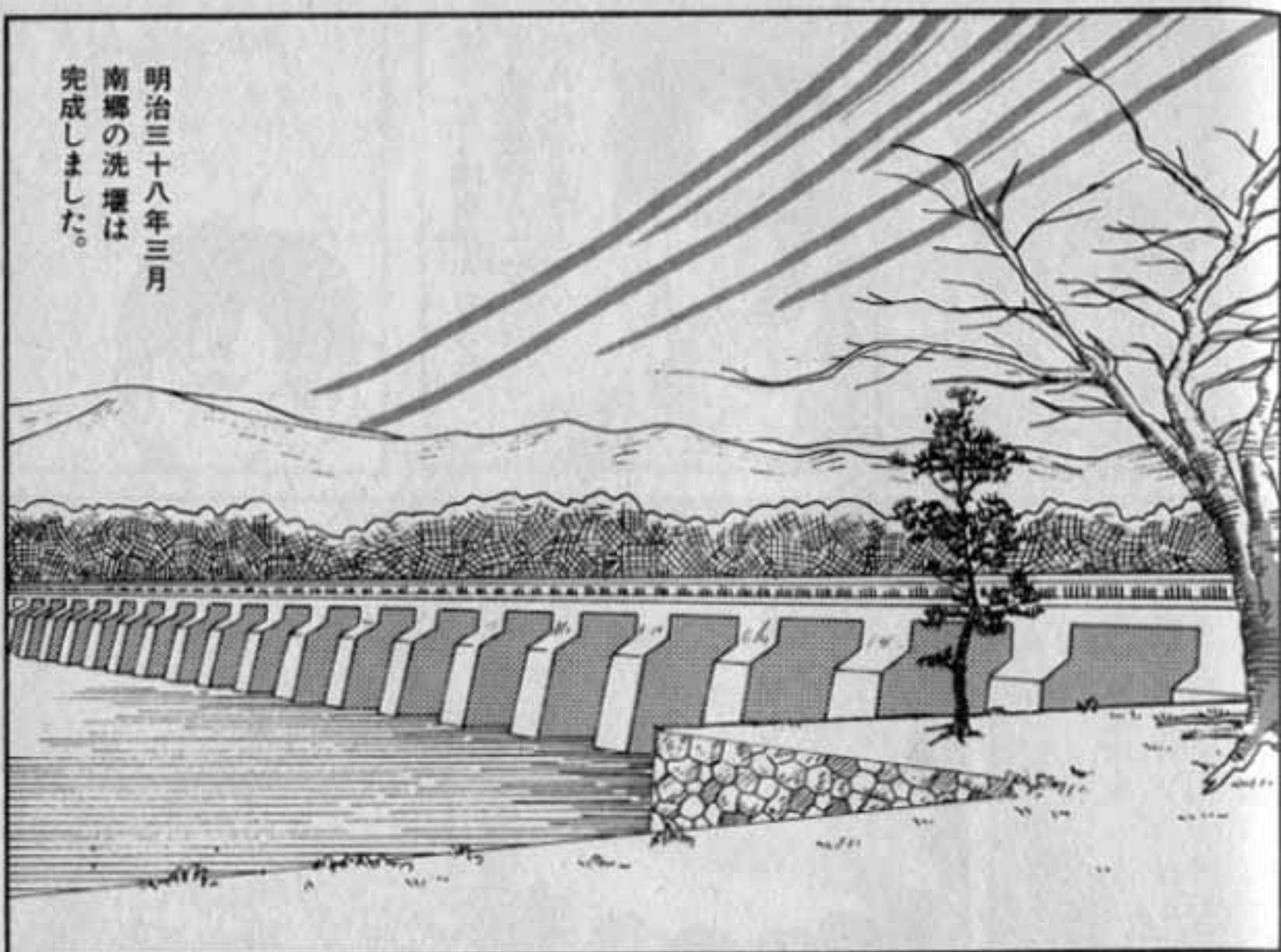
川には  
いろんな  
役割があった  
んだね、  
上流の人は  
大変だ



同じように洪水の流れてくる下流の人も  
大変だ



明治三十八年三月  
南郷の洗堰は  
完成しました。



施設はできたが、下流の  
状況によって操作しなければ  
ならないので、琵琶湖の  
水位が上昇すると上流の人  
たちは琵琶湖の水位を下げ  
るために、



これで琵琶湖の  
水位の問題は  
なくなったの



当時の施設は角落しといっ  
て角材を挿入し、水位調節  
を行っていた  
大正六年の大洪水では下流  
の高槻で堤防が欠壊したの  
だがこの角落しを抜きとる  
かどうかですごく大きなさ  
わぎとなったんだ。



洗堰を  
開けよう

琵琶湖の  
水位を  
下げよう





次に下流の改修の話をしてほしいなあ



そうだよ瀬田川の工事は下流の改修と一体となって行われたんだ



下流の改修も必要ね



木津川も桂川も改修しよう



巨椋池と宇治川を分離しよう



この際、宇治川をつけかえて水の流れをよくしよう



合流させよう



木津川も桂川・宇治川・木津川の三つを一ヶ所で



この際、思いきって



やらねばなるまい



川をつけ変えるのか

三川合流点の改修

- 淀川改修工事による三川合流
- - - 淀川改修増補工事による三川合流
- - 背割堤





遊水地 運河施設が整っていないかつて昔は、河川から溢れた水を、河川の低地に自然にできた遊水地が溜め込み、自然排水されるにまかせていました。この遊水地を遊水地といい、かつて、宇治川の流れば、遊水地である、巨椽池に注いでいました。

広く大きな  
巨椽池は



今までのように  
洪水のたびに  
池の形を  
変えることも  
なくなり  
ました。



そして自然の遊水池  
としての役目も  
果たさなくなり、



大きな水溜りと  
なりました。



宇治川の  
本流と離れ  
てしまった  
巨椽池は



水が大きく  
入れかわる  
ことが  
なくなり



ぼうふらが  
わき



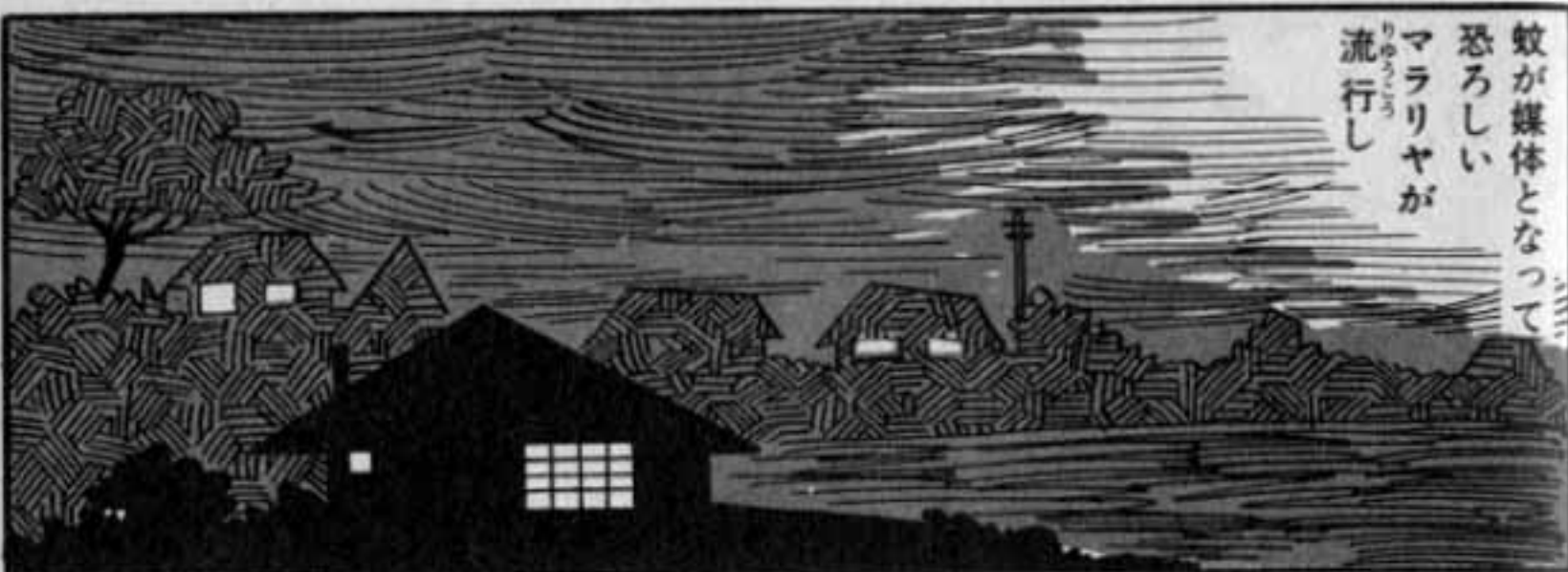
蚊が発生するようになり  
ました。



あっ  
かゆい



蚊が媒体となって  
恐ろしい  
マラリヤが  
流行し



排水が悪く  
浸水するようになり  
ました。



魚も  
へって  
しまった



また大雨が  
降ると





樺島多賀助 千葉県の下野事業に従事したのち、大正2年京都府に転任。巨椋池干拓のため、池本甚兵衛を訪ね干拓の探査を請り合いました。後、この初めて池本家を訪ねたとき出された、羊羹と宇治茶の味は忘れられない」と語ったことが、当時の旧小倉村機関誌に記されています。



巨椋池を  
干拓しよう



干拓して  
水田を  
作ろう



まず  
調査す  
べきだ

大正二年



京都府土木課  
樺島多賀助  
技師と  
地元の  
池本甚兵衛が  
巨椋池  
を調べ



巨椋池  
調査書を  
知事に提出



うむ  
これなら  
できる!!



しかし  
地元の声は  
まちまち  
だったのです。

魚が捕れ  
なくなる

水田を作る  
べきだ

しかし君たち  
あの地が水田に  
なるなんて信じ  
られるかね



漁業が  
できなく  
なると  
生活がやつ  
ていけない

このままだと  
また洪水に  
やられる

また  
マラリヤに  
やられるぞ

田畑を作った  
方が生活が  
豊かになる

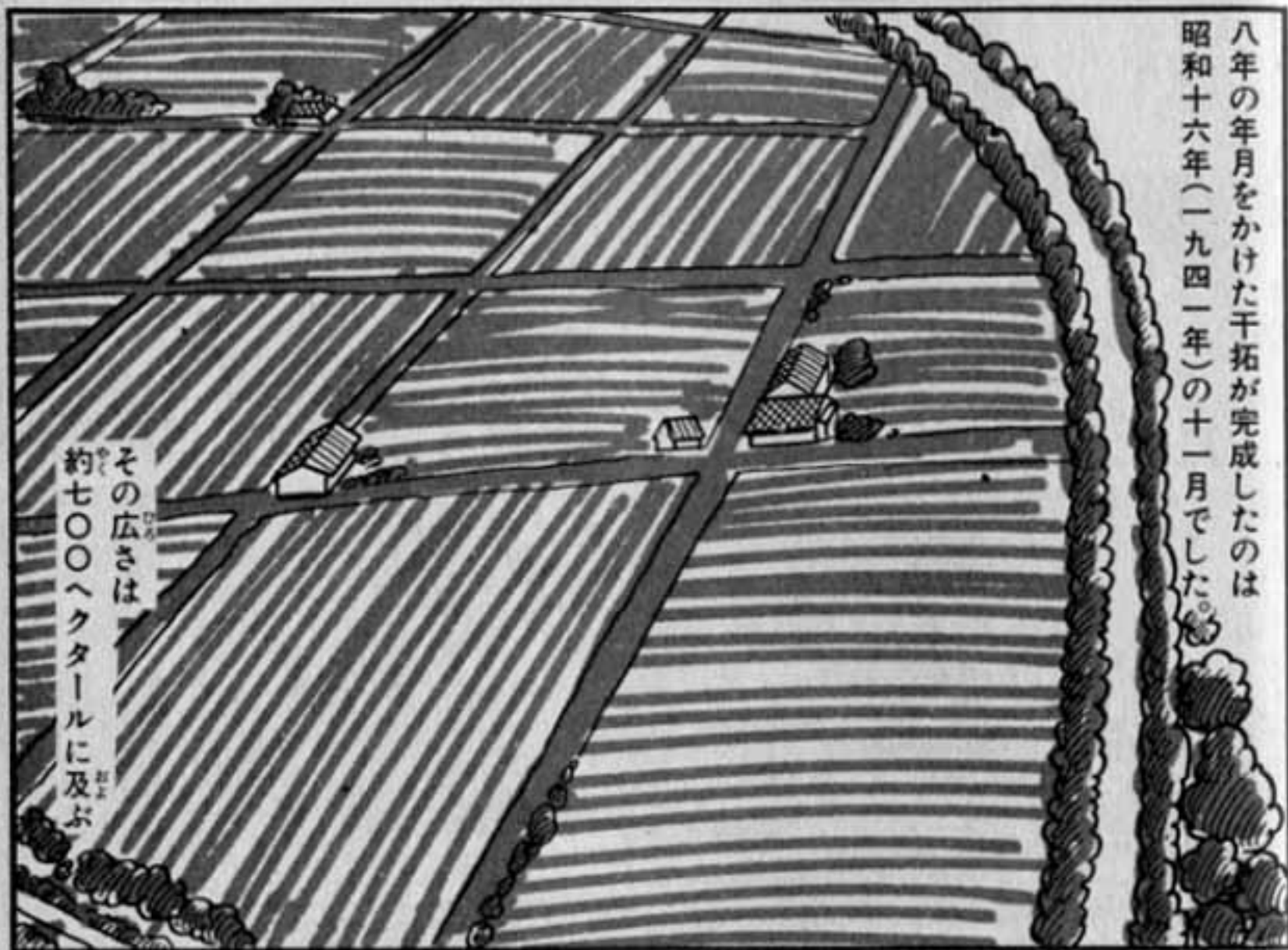


昭和七年  
(一九三二年)  
巨椋池干拓  
決定!!

昭和八年  
干拓工事開始!



八年の年月をかけた干拓が完成したのは  
昭和十六年(一九四一年)の十一月でした。



その広さは  
約七〇〇ヘクタールに及ぶ

やっとできた

これで  
たくさんの  
作物が  
採れる

土地の人々  
は大喜び  
だね

下流の淀川  
ではどんな  
工事が行  
われたの

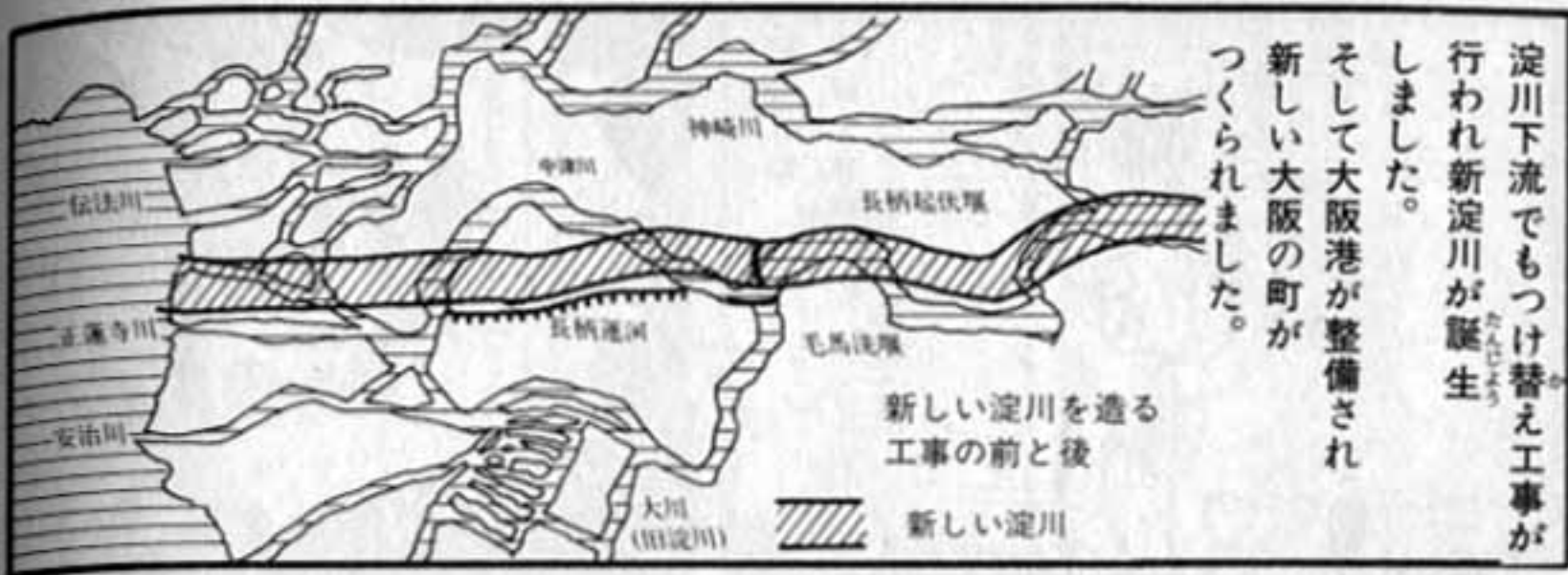
下流淀川では  
もっと大きな  
工事が  
行われ  
たんだ

よ



池本基兵衛 宇治市小倉村に生まれ、巨椋池干拓事業を奨励し、干拓の具体的運動を起しました。干拓工事竣  
中の昭和十二年(一九三八年)八月、ごんになりました。





淀川下流でもつけ替え工事が行われ新淀川が誕生しました。そして大阪港が整備され新しい大阪の町がつくられました。

新しい淀川を造る工事の前と後



この新淀川つけ替え工事の着工は明治三十一年（一八九八年）で延べ八〇〇万人による大工事でした。この工事は土を掘る機械を外国から輸入したり、



掘った土を運ぶ機関車も登場するほど大がかりなものでした。





昭和二十八年(一九五三年)  
台風十三号襲来



宇治川の  
堤防が切れ  
洪水が  
干拓地へ  
流れこみ



稲は  
全滅して  
しまっ  
ました!!



